

木炭に防音効果

島根大と出雲カーボンが共同研究

マンションの住環境改善も

特許出願

果だという。

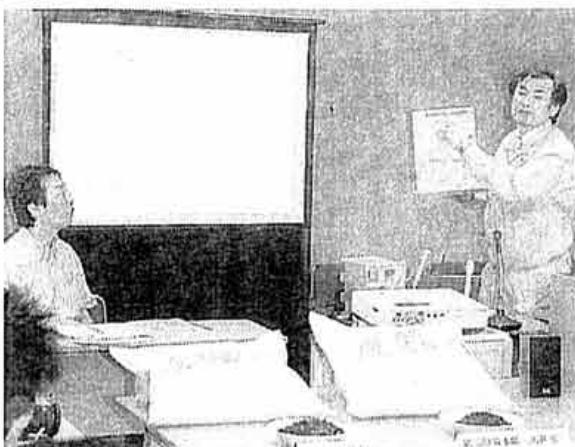
中尾哲也・島根大教

授は「粉状の炭が摩擦し振動を抑え、袋に詰めることで容積が増えない音を防いだのではないか」と説明、「既設マンションの住環境改善もできる」と期待する。石飛社長は「東京の新築高級マンショ

ンに販売していく。なぜ防音できるかなど研究を進めたい」と語った。
【御園生枝里】

出雲土建(出雲市、石飛裕司社長)の子会社「出雲カーボン」が生産する解体木材を利用した調湿木炭「炭八」に鉄筋コンクリートマンションで防音効果があることが島根大と共同研究で分かった。両社は31日、天井用の防音材、換気口などを含む建築構造の2点を特許出願した。

炭八は粉碎した木材を炭化し、袋に詰めたものの。02年から製造を開始、06年に床下用で



炭八の効果について説明する石飛社長(右)と中尾教授

トがきっかけで始まった。島根大や小林理学研究所(東京都)などと実験した結果、「ドスン」などという低い音の63ヘルツ帯域を約4dB低減することを実証。これは厚さ3cmのコンクリートと同じ効